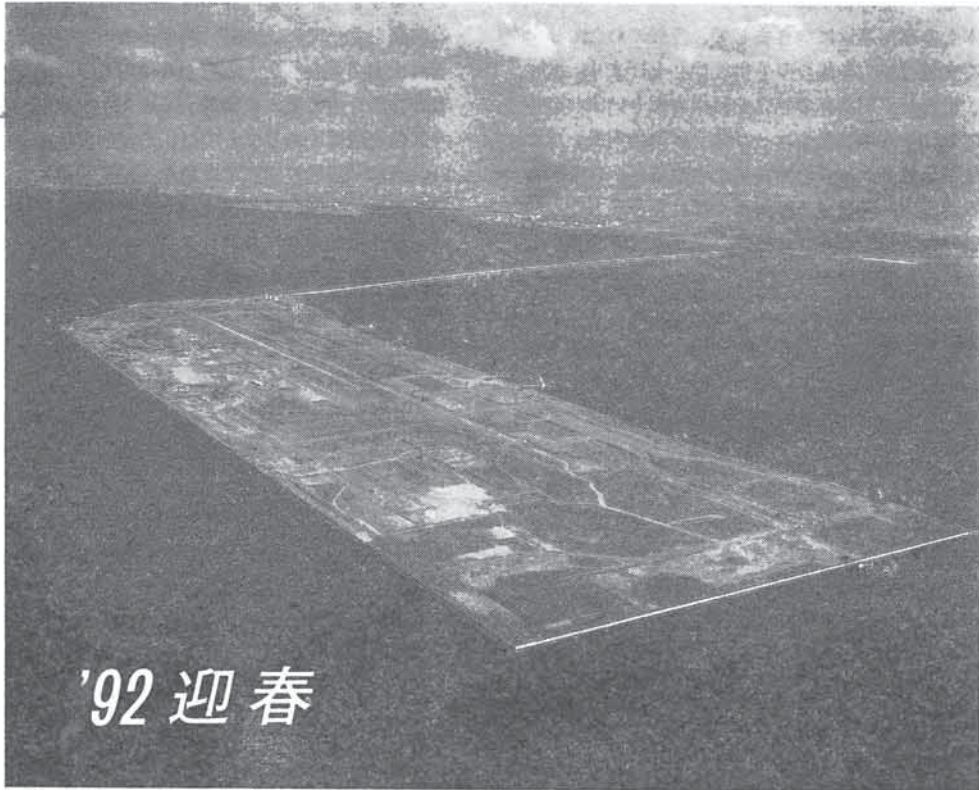


危険物新聞

第 457 号

発行所 財団法人 大阪府危険物安全協会
編集人 松 村 光 惟
発行人

大阪市西区新町1丁目5-7
四つ橋ビル
TEL (531) 9717・5910
定価 1部 60円



平成6年夏、開港をめざし建設工事急ピッチの関西国際空港

(関西国際空港株式会社提供)



年頭のご挨拶

平成4年の新春を迎えて

(財)大阪府危険物安全協会理事長 嶋田直榮

平成4年の輝かしい新春を迎え、会員の皆様方に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は本会の事業運営につきまして、各般にわたりました格段のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、世界が平和共存の確立を目指す大きい流れの中で、中東における湾岸戦争やユーゴスラビアの内乱、またソ連邦ではペレストロイカに始まった大改革が、昨年末には独立国家共同体に移行する等大きく揺れ動きました。一方、国内におきましてもバブル経済の崩壊、宮澤政権への交代等により政治経済は大きく変化しつつあります。

一方長崎普賢岳の噴火による大火砕流の発生により、多くの死傷者を出す大惨事となり、今なお住民が避難生活を続けている現況を見る時、被害者の心痛を察すると共に、改めて自然災害の恐ろしさを認識するものであります。

この様な厳しい社会状況下にありまして、会員の皆様方におかれましては、それぞれの分野において事業の進展を遂げられると共に、事故や災害の無い平和な街づくりのため努力を重ねられましたことに対し、心より敬意を表するものであります。

さて、近年の社会環境の変化は著しいものがあり、これに伴いまして、危険物も多種多様な品目となり危険物に起因する事故は今後更に複雑化の様相を呈しており、一度誤りますと大規模な災害になるおそれがあり、尊い生命と財産が失われ、その社会的責任は極めて大きいものであると思われまます。

昨年中の危険物事故は、関東では、ガソリンスタンドの地下タンク解体中の爆発や化学工場でのメタノール精留塔の爆発、大阪では、豊中の大学研究室で実験中の爆発、これ等事故により多くの犠牲者が出たことは記憶に新しいものであります。公益法人である本協会の目的は、危険物災害の防止に関する調査、研究並びに普及活動を行うとともに、危険物取扱者の養成と教育を行い、府民の生命及び財産を災害から保護し、もって公共福祉に寄与することにあります。

この目的達成のため本協会の事業の1つとして、平成2

年度から制定された全国危険物安全運動を大きく推進いたしております。とくに昨年は危険物取扱関係者の保安意識の啓発をテーマに、木村消防庁長官をお迎えして「大阪府危険物安全大会」を大阪府と共催のもと、約500名の関係者の参加を得て盛大に開催することが出来ました。

又保安講習にありましては、危険物関係法令の改正に伴い、当初計画通り順調に受講者が増え、更に危険物取扱者養成講習、全国危険物安全協会より委託を受けた地下タンク、新たに制定されたタンクローリーの点検技能者講習会、その他諸事業もお陰をもちまして円滑に促進することができ、協会運営目的は着実に遂行され、ソフト面での危険物防災に寄与することが出来つつあるものと確信しているところであります。

これひとえに、大阪府をはじめ各消防本部、そして関係各位の深いご理解とご支援によるものと、心より感謝申し上げます次第であります。

大阪は、今平成6年の関西新空港開港を控え、新しい国際文化都市へと大きく飛躍しております。このことにより都市構造が変転し、総合的な都市災害の危険性が潜在して来る訳けであります。特に危険物行政につきましては、社会的要請と、住民のニーズに的確に対応した保安体制の確立こそが、企業の繁栄と共に地域の安全に繋がるものと考えられます。

私共協会も、新しい年を迎えるに当り創立以来培われて来た歴史と実績を充分踏まえながら、役員はもとより職員一同心新たにして、21世紀に向け災害の防止、そして協会の発展に全力を傾注して参る所存であります。

どうか、ご当局関係者には倍旧のご指導、ご尽力を賜り、会員の皆様にもより一層のご支援をお願い申し上げます次第であります。

最後になりましたが、皆々様のご健勝とご隆盛を心より祈念し、年頭のご挨拶といたします。



年頭のご挨拶

大阪府知事 中川 和雄

財団法人大阪府危険物安全協会の皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年の春、府民の皆様方の暖かいご支援により、大阪府政を担当させていただくことになりました。お陰をもちましてこの間の府政も順調に推移し、「府民と知事の和やかサロン」の開催や90年代府政の長期ビジョンである「新総合計画」の策定など、新しい府政を無事に船出させることができました。

これも平素の皆様方のお力添えがあったればこそと、心から御礼を申し上げる次第でございます。

さて、新総合計画では、90年代の大阪づくりのための基本理念として「交流と創造の時代を先導する大阪」と「新しい豊かさの時代を先導する大阪」の2つの柱を明らかにさせていただきました。

こうした基本理念に基づき、今後大阪が新しい発展を実現していくためには、世界都市大阪づくりのビックプロジェクトを確実に推進するとともに、ソフト面にも配慮し、計画的にバランスのとれた整備をすすめることが大切であり、その際の基本姿勢として、^{ゆとり}の気持ちを持つことが極めて大切な視点であると考えています。

現在、わが国は国民生活全般にわたり、かつて経験したことのない豊かさを謳歌していますが、その一方で、こうした物的・量的な豊かさだけでなく、^{ゆとり}や^真の豊かさが求められるところになっており、例えば、街づくりに際し、都市景観に潤いや安らぎの演出を工夫したり、お年寄りや障害のある方々にも安心して活動できるよう、公共施設などに福祉的な配慮を行き届かせるなど、生活者の視点にたつ街づくりに意を尽くしてまいることが必要であります。

また、人々が時間的な余裕を持てる工夫や相手の立場を思いやる気持ちの醸成など、住み、働き、学び、そして憩う、あらゆる場面で^{ゆとり}を創出する工夫をこらすことが大切であります。

つまり、^{ゆとり}・^{おおさか}新時代。を築いていくことが新しい大阪づくりに欠かすことのできない視点と考えて

います。

現在私達は、国際化や高度情報化をはじめ、著しい科学技術の進展など、激しい時代の変化にさらされています。とりわけ大阪は、急激なテンポで超高齢社会を迎えようとしており、より高度な福祉社会の実現を急ぐ必要があります。さらに、わが国初の24時間空港をはじめ、様々なプロジェクトが実現していく中で新しい都市基盤整備をすすめる、「世界の大阪」としての地歩を確実に固めていくことが内外から期待されています。

私は、新時代にふさわしい大阪の国際化施策をすすめるために、その基本理念とも言うべき指針を早急につくってまいりたいと考えております。

真の大阪の発展を実現するためには新しい課題や経験なき出来事に着実に取り組むことが必要であり、そのためには前例に踏襲するのではなく、「我々が次なる世代に良き前例を残すのだ」という発想を持つことが大切と考えます。

奇しくも今年は、アメリカ大陸が発見されて五百年目の節目の年であります。コロンブスの大冒険が今日のアメリカ繁栄の第一歩となっていますが、私も今日の様々な未知なる課題を一つひとつ確実に解決し、百年後、二百年後の世代に継承すべき大阪を築きあげていきたいと考えています。

最後に、財団法人大阪府危険物安全協会の皆様方には、今後とも府政への変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。





新春のごあいさつ

大阪府下消防長会会長 十河 將博
大阪市消防局長

平成4年の輝しい新春を迎え、会員の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は皆様方におかれましては、国内外の厳しい経済環境の変化にもかかわらず、安全操業のうちに事業の発展を遂げられたものとお喜び申し上げます。

さて、昨年をふり返りますと、5月に滋賀県で信楽高原鉄道とJR西日本の快速列車が正面衝突した大惨事があり、また、島原市の雲仙岳において大規模な火砕流が発生し、多くの人命と財産が失われるなど災害に対する消防防災対策の推進に多くの課題と教訓が提起されたところであります。

一方、危険物施設におきましても、6月に市原市の化学工場においてアルコールの精留塔が爆発し、多数の犠牲者を出し、さらに周囲約1キロメートルにわたり住宅の窓、外壁等に被害を及ぼす事故がありました。事故は、原料溶液中に含まれていた微量の過酸化物が精留塔内で濃縮され、析出し、その固体過酸化物が熱又は摩擦により爆発したものと聞いております。危険性の高い物質を取り扱う場合は、たとえ微量であってもその運転条件の管理やモニタリングの強化など安全対策に万全を期す必要があります。

また、10月には豊中市の大学の研究室において、シランガスの爆発火災事故が発生し、前途ある学生2名がなくなり、負傷者5名が出ました。はからずも先端技術に潜在する危険性がいかに大きいかを知ることとなりました。消防といたしましても特殊材料ガスの安全性の確保と取扱い場所等の情報提供を国へ要望したところであります。

この他にも各地で危険物の流出や火災等の事故が発生しており、危険物を取り扱う事業所においては、人命優先、安全第一を経営の基本方針とし、危険物の安全管理を徹底しなければなりません。

さて、一連の危険物関係法令の改正も施行から1年以上経過し、危険物の判定のための試験制度や危険物施設の新たな技術基準についても、皆様方のご理解を得て定着しつつあります。今後、消火設備の改修や移動貯蔵タンクの水圧試験に係る定期点検などの措置期限がまいりますので、

本年もより一層のご協力をお願い申し上げます。

現在、関西においては、21世紀に向け、関西国際空港の建設をはじめ、最先端技術の開発、国際貿易の振興、世界の情報の受発信などに関する施設が次々と建設されるとともに、文化、芸術、スポーツ、レクリエーションなどの機能を持った都市の創造も進められております。

我々消防も高度救急処置を行う救急救命士の養成や消防力の強化など府民の安全を守るため、万全を期す所存でありますので、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、皆様方の事業のますますのご隆盛と会員各位のご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年のあいさつとします。

謹 賀 新 年

本年もよろしくご指導い
ただきますようお願い申
し上げます

平成4年元旦

大阪府危険物安全協会

理事長 嶋田直榮

役員、職員一同



年頭にあたって

財団法人 全国危険物安全協会

理 事 長 皆 川 迪 夫

平成 4 年の初春を迎え、大阪府危険物安全協会会員の皆様方に謹んで新年のおよろこびを申し上げます。

皆様方におかれましては、平素から危険物の保安管理業務の最先端にあって、危険物取扱者の指導・育成及び危険物に係る安全の確保に積極的にご活躍をいただいておりますことに深く敬意を表する次第であります。

さて、昨年を振り返ってみますと、雲仙普賢岳の噴火災害等の自然災害のほか、危険物に係る事故として、5月27日神奈川県のカソリンスタンドの使用済みとなった地下タンク解体中の爆発で2名の死傷者を出した事故、および6月26日千葉県製の合成洗剤製造工場のメタノール精留施設での爆発で15名の死傷者を出した事故等が特筆され、危険物の安全の確保に係る業務に携わる者として、誠に残念でなりません。

大阪府危険物安全協会の活動される地域は、わが国の政治・経済の西の要であり、勢い危険物流通の要でもあります。また、近年の科学技術の進歩は、まことに著しいものがあり、石油類をはじめとする危険物も多種多様なものが出現いたしております。これらの危険物は、生活様式の変

化とともに、我々の社会生活に深く浸透し、不可欠な存在となっており、その取扱いの形態も多岐にわたっております。

申し上げるまでもなく、危険物に係る災害は、不幸にして一度でも災害が発生すれば、その被害は甚大なものとなり、社会に与える影響も計り知れないものであることはご承知のとおりであります。

また、危険物災害の多くは、危険物を取り扱う人のちょっとした不注意が原因である、とされていること等々を考え合わせますと、我々に課された使命は、ますます重要なものとなってまいります。

どうかこの新しい年の出発を機会に、過去の事故の教訓を生かし、災害のない安全な都市づくりにまい進されますようお願い申し上げます。

おわりにあたり、本年が災害のない平穏で明るい年でありますとともに、大阪府危険物安全協会の皆様方のますますのご発展と、ご多幸を心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

迎

春

大阪市危険物安全協会
箕面市防火協会
池田市消防協会
豊中防火安全協会
島本町火災予防協会
高槻市火災予防協会
茨木市災害予防協会
吹田市危険物安全協会
摂津市防火安全協会
交野市火災予防協会

枚方市・寝屋川市
防火協会連絡協議会
四条畷市防火協会
守口・門真防火協会
大東市火災予防協会
東大阪市防火協会連絡協議会
八尾火災予防協会
柏・羽・藤火災予防協会
松原市火災予防協会
富田林市防火協会

河内長野市防火協会
美原町防火協会
大阪狭山市防火協会
堺市・高石市防災協会連合会
泉大津市火災予防協会
忠岡町防火協力会
岸和田市火災予防協会
貝塚市火災予防協会
泉佐野市火災予防協会
泉南市火災予防協会

危険物取扱者試験結果の傾向

昭和60年～平成3年各前期

合格率(甲)30%、(乙4)32%

消防試験研究センターでは、平成3年度の前期(4月～9月)が経過したので、このほど最近の試験結果について概要を発表した。

平成3年度前期に全国で実施された試験回数は480回で、延日数は116日であった。

昭和60年度(試験センター発足の年)から平成3年までの4月～9月の同期を、甲種、乙種4類、丙種別にみると別表のとおりで、受験者は全般に増加の傾向にある。

甲種

甲種の受験者は約5,000名を超える数で、最近3年間の合格率は約30%である。

また、欠席率は7%を超え、7年間のデータでも漸増の傾向にある。

〈甲種危険物取扱者試験・前期集計〉

	申請者	受験者	合格者	合格率	欠席率
昭和60年度	3,199	3,013	971	32.2%	5.8%
61年度	4,135	3,822	847	22.2%	7.6%
62年度	4,604	4,310	1,392	32.3%	6.4%
63年度	4,671	4,356	1,571	36.1%	6.7%
平1年度	5,251	4,886	1,336	27.3%	7.0%
2年度	4,737	4,381	1,316	30.0%	7.5%
3年度	5,748	5,332	1,649	30.9%	7.2%

乙種第4類

平成元年、乙種の受験資格緩和(実務経歴不要)により約倍増の受験者があり、本年度はガソリンスタンドの保安監督者要員確保の期限を目前に、一段と増加している。

合格率は32%～33%の線で落ちつき、試験問題のレベル、組み合わせがより平均化されていることがうかがわれる。

欠席率は、乙種の他の類や甲種、丙種と比較し最も高く、受験者の熱意が他の種類より劣るようである。



暮らしに安心と安全をお届けする

- 屋内外消火栓設備
- スプリンクラー設備
- ドレンチャージャー設備
- 泡消火設備
- ガス消火設備
- 粉末消火設備
- 自動火災報知設備
- 避難設備

創業30年の実績と経験で信頼いただく
防災のことならサンワにお任せください

あらゆる消防設備・設計・施工・保守・点検
株式会社 三和商会

本社 大阪市西区京町堀2丁目1番17号
〒550 電話(06)443-2456(代)
平野営業所 大阪市平野区長吉出戸2丁目4番6号
〒547 電話(06)707-3341



空調設備機器製造・販売

- オイルタンク用液面計
- 遠隔式警報ユニット液面計
- 各種液体タンク用液面計
- フロートスイッチ・微圧スイッチ
- タンク部品一式

独自の技術により、正確・安全
ローコストを追求する

GIKEN

TEL 06(358)9487(代表)

株式会社技研

〒530 大阪市北区天満4丁目11番9号 工技研ビル ☎358-9487-8

〈乙種第4類危険物取扱者試験・前期集計〉

	申請者	受験者	合格者	合格率	欠席率
昭60年度	82,519	75,368	26,666	35.4%	8.7%
61年度	85,789	78,077	22,300	28.6%	9.0%
62年度	93,908	85,504	26,516	31.0%	8.9%
63年度	89,077	81,481	30,467	37.4%	8.5%
平1年度	153,458	140,709	43,972	31.3%	8.3%
2年度	157,221	144,502	47,340	32.8%	8.1%
3年度	172,967	158,594	52,516	33.1%	8.3%

■乙種の他の類

第4類を除く他の類は、前年度に比べ平成3年度は受験者が急増している。これは法改正とくに別表見直しや新しく危険物に指定された物品等の取扱いによるところが、一番大きい要因ではないかとみられる。

また、合格率は各類とも50%を超え、平成3年の第1類は78.5%の好結果を出している。

■丙種

受験者は平成元年の乙種の受験資格緩和に伴い、丙種から乙種への転換組が多く、最近3年間では漸減の傾向がある。合格率も51%前後に落ちついている模様である。

欠席率は、甲種、乙種と比較し最も少ないが、最近はやや増加の傾向にある。

〈丙種危険物取扱者試験・前期集計〉

	申請者	受験者	合格者	合格率	欠席率
昭60年度	89,268	84,455	47,211	55.9%	5.4%
61年度	97,896	92,611	44,691	48.3%	5.4%
62年度	109,272	103,126	59,083	57.3%	5.6%
63年度	105,563	99,863	55,230	55.3%	5.4%
平1年度	87,267	82,071	42,591	51.9%	6.0%
2年度	71,954	67,344	34,582	51.4%	6.4%
3年度	66,356	61,903	31,322	50.6%	6.7%

Safety & Fire Engineering



防火・防災機器をフルラインアップ。豊富な製品群が多様化するニーズに応えます。

安全は時代の必然。
新しいマルナカ、始動。



株式会社 マルナカ

□本 社 大阪市北区中崎西4丁目2番27号 〒530
TEL.(06)371-7775(代表) FAX.(06)372-1859
□東京本社 東京都文京区本駒込5丁目73番5号 〒113
TEL.(03)944-0161(代表) FAX.(03)944-0170

株式会社 神戸マルナカ

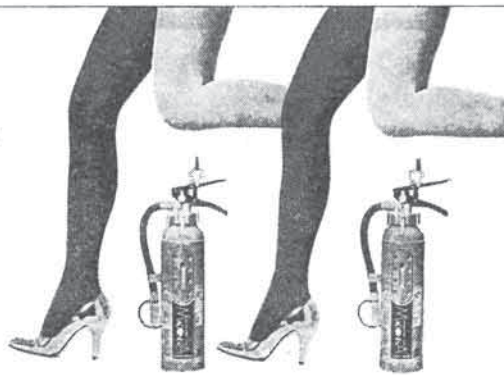
株式会社 名古屋マルナカ

安全が見える窓つき またひとつ超えました。

安心小窓がついた
モリヨの消火器
MADONNA
火災御見舞金(最高20万円まで)つき

鳥田ポンプ株式会社

本 社 / 〒544 大阪市生野区小路東5-5-20 Tel.(06)751-1351(代)
営業所 / 東 京・大 阪・名 古 屋・仙 台・福 岡・高 崎
静 岡・富 山・広 島・松 山・札 幌・旭 川



危険物 いつも本番 待ったなし

平成3年度 危険物取扱者保安講習

2月期・日程決まる

平成3年度、危険物取扱者保安講習下期(4年2月期)の日程は、次のとおり決まり、現在、申込書の受付をはじめている。

平成4年2月期の保安講習が終了すると、来年度(平成4年7月)まで行なわれないので念のため。

平成3年度 2月期 保安講習日程表

◇化学工場関係

回数	開催日時	会場
58	2月13日(木)午前	大阪科学技術センター 大阪市

◇その他・一般

55	2月7日(金)午後	布施北口・弘容ビル	東大阪市
56	2月10日(月)午前	大阪府商工会館	大阪市
57	2月10日(月)午後	〃	〃
59	2月13日(木)午後	大阪科学技術センター	〃
60	2月14日(金)午後	〃	〃
61	2月17日(月)午後	〃	〃
62	2月19日(水)午後	堺市民会館	堺市
63	2月12日(水)午後	茨木市商工会議所	茨木市

注1. 講義時間は、午前の部(9時15分又は9時30分)、午後の部(13時又は13時30分)開講で、いずれも3時間。

注2. 各会場とも駐車場はありません。(ただし、堺市民会館は有料駐車場があります。)

ヤマト消火器株式会社が社名を変更し、
ヤマトプロテック株式会社として、
大きく、はばたいています。
今後ともよろしくお願いたします。

YAMATO PROTEC

ヤマトプロテック株式会社

東京本社 千108 東京都港区白金台5-17-2 TEL.(03)446-7151代
本 社 千537 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.(06)976-0701代

■営業品目■ ビル防災設備/プラント防災設備/避難・警報設備/家庭用防災機器/各種防災機器/各種消火器
名古屋・札幌・仙台・新潟・大宮・八王子・千葉・横浜・静岡・高山・神戸・尾道・広島・松山・福岡・鹿児島/大阪工場



HATSUTA

株式会社 初田製作所

大阪本社/千573 大阪府枚方市船場田3-5 TEL.(0720)56-1291代
東京本社/千105 東京都港区大門2丁目6-7 TEL.(03)3434-4841

原点は「ロstrupリベンション」です。



私たちはひたひたみな安全への夢を
先端技術とふれあいの心で追求します

頑固な夢が
そこに
ある。